岩手医科大学報

Iwate Medical University News

2011・10　vol.421

●発行者―学長　小川 彰　●題字―理事長　大堀 勉

救援物資、震災募金への御礼

この度の東日本大地震・大津波大災害に際しましては、多くの皆様から救援物資並びに募金をお寄せいただいています。皆様からの温かいご支援に対し心より御礼申し上げます。

矢巾キャンパス図書館　～試験勉強に励む学生達～

〈9月21日㈬〉

おもな内容

●― 特　集　キャリア支援センターに行ってみよう！　～学生一人ひとりの真の行く道をサポート～
キャリア支援センター副センター長　関　　隆

●― トピックス　学生有志が防災ガイドブックを発行しました

●― 平成24年度入学試験日程

●― フリーページ　すこやかスポット医学講座 No.30　「秋・冬の乾燥肌について」
皮膚科学講座　講師　馬場　俊右

特集 キャリア支援センターに行ってみよう！
～学生一人ひとりの真の行く道をサポート～

キャリア支援センター
副センター長　関　　隆

キャリア支援センターは平成22年４月に設立され、西郡秀夫センター長（薬学部薬剤治療学講座教授）の下、医学部、歯学部各教授２名、薬学部教授３名、顧問１名、事務職員２名（現在３名）とともに運営を始めました。

センターの主な業務は、「生きる力」の育成を支援し、学生の能力・適性・学力などを考慮し、キャリア支援を行うことです。また、各学部卒業生がキャリアを変更、再開する際に機能できることも重要と考え、同窓医師、歯科医師の助力を得ながらセンターを充実させてきました。それではキャリア支援センターに行ってみましょう！

◆キャリア支援センター入口前

ピカピカの矢巾新キャンパスの正面玄関を入ると天井が高く解放感に溢れた矢巾キャンパス自慢の学生モールが迎えてくれます。圧倒されそうな施設を見ながら左に進むと、左側全面ガラスの自動ドアに青地に白抜きの文字で「岩手医科大学　キャリア支援センター」の案内がいかにも「何かを期待」させてくれます。

◆情報検索スペース

３人用のおしゃれなテーブルが３脚、その上に専用パソコンが５台設置されている他、無線 LAN にも対応しており、自分のパソコンでも自由に企業検索などができるスペースです。

◆個別面談ブース（2室）

半個室的ブースが解放感と秘密保持をバランスよくとっており、専門のキャリアカウンセラーやセンタースタッフが学生の進路相談やエントリーシートの書き方指導などをしています。

◆セミナールーム

「就活関連図書」や「求人情報」を備えています。普段は自由に閲覧（貸し出しもします）できるスペースですがパーテーションで区切れば「セミナールーム」に早変わりし、グループディスカッションの訓練や少人数で実践的なマナー講座等を実施しています。

◆面談ブース、資料作成ブース

就職活動で一番のポイントは「面接」です。エントリーシート、筆記試験、小論文等内定を勝ち取るまでには様々な関門がありますが、どこの採用担当者からも口に出るのは「面接重視」です。

キャリア支援センターでは面談ブース（左）で面接指導をし、同時に２台のノートパソコンを備えた資料作成ブース（右）で面接時に必ず聞かれる「志望理由」や「自己 PR」等の自己紹介書の添削指導をします。

◆応接ルーム

就活の最終段階での「役員面接」に慣れてもらうスペースです。豪華応接室とはいきませんが、コート掛け等も用意し雰囲気は十分です。

次に、当センターで行っているキャリア支援活動についてご紹介します。
医療業界といっても様々な業種・職種があり、薬剤師を一つとっても多彩な活躍場所があります。
キャリア支援センターは「学生一人ひとりの真の行く道をサポート」をモットーに下記支援活動を行っています。

◆進路総合ガイダンス

１～５年「働く心構え、キャリアデザイン、マナー、身だしなみ、就職支援システム活用、就活スタートガイダンス」等、１学年の４月から、社会に出る心構えについてガイダンスを実施しています。

◆各種セミナー

エントリーシートの書き方・マナー講座・面接対策講座・メークアップセミナーなど、就職活動の基本的セミナーです。就活意識高揚を目指します。

◆特別講演（薬局・企業・公務員）

「人は自分が知っている会社や職業しか選べない」と言われますが、特別講演では様々な業種の方に講演をしてもらうことで職業選択の幅を広げることを目指しています。

◆個別相談

就職活動の第一歩「自己分析」等の相談を受けるために、専門のキャリアカウンセラーが毎日対応しています。

◆就活ブック

超氷河期と呼ばれる昨今の大学生の就職事情において就職活動のタイミングや活動方法等のガイドブックは必須アイテムであり、薬学生向けに専用のガイドブックを作成し、５学年全員に配布しました。

◆父兄会向け講演

昨今の就職活動には父母が関わることが多く、プラス面とマイナス面があるため、就職活動への上手な関わり方について、本年は厚労省就職指導官による講演を開催しました。

◆インターンシップ

本来インターンシップは教育の一環としての就業体験であり、企業規模志向や職業のミスマッチを無くす目的もあります。現に就職後の離職率を見ると薬剤師を含む医療・福祉系では３年後の離職率が44.3%と他業種より高くなっています（産業計35.9%）。今はまだ薬剤師は売り手市場ですが、今後毎年10,000人以上増えることを考えると、最初にしっかりと自分が何をしたいか、自分に合った会社かを見極める必要があります。

キャリア支援センターでは官公庁、製薬会社、CRO、薬品卸、病院、調剤薬局等へ独自にインターンシップ受入を要請し、希望学生を参加させています。

◆公務員対策講座　春・秋集中講座

各大学薬学部も力を入れており、公務員への就職で勝ち抜くには必須と考え、上野法律ビジネス専門学校と提携し2011年春季集中講座と秋（第1，4土曜日と平日放課後）講座を開催しています。

＊製薬企業入社についてもその基礎力は活かされ、スクリーニングでも残るのは公務員志望学生が多いと言われています。

◆学内企業研究セミナー

キャリア支援の最大イベントと考えています。大手製薬企業等普段なかなか会えないメーカー、卸、病院、薬局、官公庁等の人事担当者が一堂に会しブース形式での説明会です。

本年２月５日に48会社・事業所が参加し本学初の「企業研究セミナー」を体育館で開催しました。学生も４年生（現５年生）を中心に約130名が参加し、就活本番前にもかかわらず熱心に採用担当者の説明を聞き、そして真剣に質問していました。

今年は2013年卒業の薬学部一期生が就活本番を迎える年であり、参加企業を増やし、さらに充実した「企業研究セミナー」を12月に開催予定です。

◆就職支援システム「求人 NAVI」

就職活動は情報が命です。しかし、インターネットを開くと情報が氾濫し、本当に必要な情報を見失うことにもなりかねません。本学では就職支援システムとして「求人 NAVI」を採用しました。主な機能は、当然「求人情報検索」ですが、大手情報誌の検索サイト「リクナビ、マイナビ」と違う点は、本学への求人情報が検索できるという点です。つまり、本学学生を採用したいという情報ですから非常に有効かつ効率的求人情報が検索できます。また、予め学生は「進路希望登録」をしておきますので、求人情報とのマッチングが可能であり、メール配信機能で情報提供が可能です。他に、イベントお知らせ機能や個人面談予約等も本システム上から可能であり、キャリア支援センターの各施策実施に欠かせないシステムとなっています。

以上、キャリア支援センター内を紹介しましたが、「超就職氷河期」と言われる昨今、大学の就職実績は「大学力」ともいわれ、国家試験の合格率とともに入学志願者が志望大学を決める大きな要素とも言われます。

センターでは最も重視されるコミュニケーション能力を高め、本学学生が厳しい就職戦線を勝ち抜くことを目指しています。学生を応援する意味からも是非実際に来て実感してください。スタッフ一同、歓迎致します。

◆キャリア支援センター事務室◆
調査役（副センター長）　関　　隆、事務室長　渡邊　剛、事務員　細川　栄子、顧問　中井　理史
所在地：岩手医科大学矢巾キャンパス東研究棟１階
TEL：019-651-5111（内線：5367、5366）　FAX：019-698-1835　E-mail：career@j.iwate-med.ac.jp

Topics

アイバンク街頭 PR が行われました

９月３日㈯午後１時から、イオン盛岡南ショッピングセンターにてアイバンクの街頭 PR が行われました。

この街頭 PR は、アイバンクへの登録推進運動の一環として昭和55年から毎年行われているものです。

当日は、PR ポスターやパネル展示のスペースが設けられ、本学教職員、関係団体の方々約30人が2,000枚のパンフレット等を配布し、アイバンクへの登録を呼びかけました。

アイバンクの機能を十分に発揮するためには、多くの角膜提供登録が必要であり、本学でも約40名の方々が角膜移植を待ち望んでいます。

登録をご希望の方は、本学病院事務部医務課内のアイバンク事務局（内線3122）までお問い合わせください。

病院対抗球技大会で本学チームが好成績を収めました

盛岡地区23病院による第37回盛岡地区病院対抗球技大会が開催され、本学は卓球とバレーボール、野球の３種目に参加しました。

本学は例年輝かしい成績を収めており、その活躍が期待される中で、卓球チームが優勝、バレーボールチームが準優勝、野球チームが３位入賞と輝かしい成績を収めました。会場には、本学教職員が応援につめかけ、熱戦を繰り広げる選手達に声援を送っていました。

卓球チーム

バレーボールチーム

大野和士さんによる「こころふれあいコンサート2011」が開かれました

９月６日㈫、本学附属病院循環器医療センター１階ロビーにて、フランス国立リヨン歌劇場首席指揮者を務める大野和士さんと世界を舞台に活躍する声楽家の皆様によるボランティアコンサートが開かれました。

このコンサートは、東日本大震災で被災された方々を励まそうと本学を含めた被災地の医療機関で開催されています。

コンサートの開演に先立ち、大野さんご一行は入院中の子供達を励まそうと附属病院の小児科病棟を訪問し、「七つの子」などの童謡を披露され、子供たちから大きな拍手が送られました。

コンサートでは、オペラの曲目や童謡などが披露され、多数の患者様や大学関係者が大野さんのピアノ演奏と美しい歌声に耳を傾けました。また、曲の合間には、曲にまつわるエピソードや音楽家の普段の生活など、ユーモアあふれる大野さんのお話が会場をわかせました。

コンサートにご尽力いただきました大野さんをはじめとした関係者の皆様には、心より御礼申し上げます。

学生有志が防災ガイドブックを発行しました

報道関係者を前に防災ガイドブックを PR する学生

本学の学生有志は、３月11日㈮の東日本大地震・大津波大災害を受けて自主的に防災ガイドブックを発行しました。

９月21日㈬には、創立60周年記念館10階会議室にて、赤坂学生部長と作成に携わった学生による記者発表が行われました（左写真）。

防災ガイドブックは、医・歯・薬学部の学生が３学部の知識を結集させ、本学教員による指導・監修の下、災害時に役立つ医療情報や緊急時における公共機関の連絡先等を掲載していて、持ち運びの利便性を考慮したＡ5版サイズ（35ページ）により発行されました。

なお、防災ガイドブックは、広く県民の皆様に役立ててもらおうと、本学附属病院や県内の公的機関などに配布されています。また、本学ホームページ（http://www.iwate-med.ac.jp/news/n1-information/11091501-kikaku/）から閲覧・ダウンロードすることができますので、ぜひご覧ください。

㈶岩手生物工学研究センターと包括連携に関する協定を締結しました

9月22日㈭、創立60周年記念館10階会議室にて、本学と㈶岩手生物工学研究センターとの包括連携に関する協定調印式が行われました。

この協定は、本学と同センターの教育・研究活動の連携を通じて、岩手県におけるバイオテクノロジー分野の教育・研究を推進し、技術発展並びに本県の産業振興に寄与することを目的として締結されたものです。

調印式では、関係者が見守る中、小川学長と東大野 潤一理事長により協定書への調印が行われ、固い握手が交わされました（右写真）。

協定調印後に握手を交わす小川学長（左）と東大野理事長（右）

共同研究では、シイタケやヤマブドウ、イサダなどの物質が有する疾病予防効果などについて研究が推進され、将来は岩手の生物資源を利用した健康食品・医薬品が開発されることが期待されます。

なお、11月７日㈪午後１時30分から、エスポワールいわてを会場にして、包括連携協定締結記念シンポジウム「海産物の機能性と新需要・新産業創出への道～三陸沿岸復興に向けて～」を開催いたします。

平成23年度第７回総合消防訓練が行われました

学生による消火訓練の様子

９月22日㈭午後３時から平成23年度第７回総合消防訓練が医療専門学校上ノ橋校舎にて行われ、約60名の関係者が参加しました。

訓練では、校舎１階男子ロッカー室からの出火を想定して、通報・初期消火・避難誘導等一連の訓練を行いました。その後は盛岡中央消防署員の方による消火器・屋内消火栓の取扱い説明に続き、実際に消火器を使用した基礎訓練を実施しました。

訓練終了後、三浦校長からは「本を見て頭で理解しただけでは、実際に歯科衛生士としてできるものではありません。知識と技術を結びつけるために授業で実習を行っているのです。実際に訓練を行うということが重要なのです。消防訓練の意義もそこにあります。」と講評があり、盛岡中央消防署員の代表の方からは「真剣に取り組んで良い訓練でした。今後、就職される皆さんにとって、今日の消防訓練は役立つことと思います。」と講評がありました。

平成24年度入学試験日程（岩手医科大学）

医学部	推薦入学試験		一般入学試験		編入学試験	
	一般推薦	地域枠特別推薦	一次試験	二次試験	一次試験	二次試験
募集人員	20名	15名	85名		5名程度	
出願期間（消印有効）	平成23年10月24日(月)～平成23年11月3日(木)		平成23年12月5日(月)～平成24年1月6日(金)		平成24年2月20日(月)～平成24年2月26日(日)	
試験日	平成23年11月12日(土)		平成24年1月18日(水)	平成24年1月27日(金)・28日(土)※どちらか一日を選択し受験	平成24年3月5日(月)	平成24年3月15日(木)
試験会場	本学（矢巾）		本学(矢巾)・東京・大阪・札幌	本学（内丸）・東京	本学（内丸）	
試験方法	書類審査・小論文・面接適性検査・基礎学力試験		学科試験（外国語・数学・理科2科目）小論文・適性検査	面接	学科試験（生命科学全般）小論文	面接
合格者発表日	平成23年11月18日(金)		平成24年1月24日(火)	平成24年1月31日(火)	平成24年3月9日(金)	平成24年3月21日(水)

歯学部	推薦入学試験				
	一般推薦（前期）	指定校	同窓生	一般推薦（中期）	一般推薦（後期）
募集人員	15名程度		若干名	若干名	若干名
出願期間（消印有効）	平成23年10月24日(月)～平成23年11月3日(木)			平成24年2月1日(水)～平成24年2月25日(土)	平成24年2月27日(月)～平成24年3月18日(日)
試験日	平成23年11月12日(土)			平成24年3月2日(金)	平成24年3月24日(土)
試験会場	本学（矢巾）			本学（内丸）	
試験方法	書類審査・小論文・面接				
合格者発表日	平成23年11月18日(金)			平成24年3月6日(火)	平成24年3月26日(月)

歯学部	一般入学試験			編入学試験		
	前期	中期	後期	前期	中期	後期
募集人員	30名	5名程度	若干名	若干名	若干名	若干名
出願期間（消印有効）	平成23年12月19日(月)～平成24年1月20日(金)	平成24年2月1日(水)～平成24年2月25日(土)	平成24年2月27日(月)～平成24年3月18日(日)	平成23年10月24日(月)～平成23年11月3日(木)	平成24年2月1日(水)～平成24年2月25日(土)	平成24年2月27日(月)～平成24年3月18日(日)
試験日	平成24年1月27日(金)	平成24年3月2日(金)	平成24年3月24日(土)	平成23年11月12日(土)	平成24年3月2日(金)	平成24年3月24日(土)
試験会場	本学(矢巾)・東京・大阪・福岡・仙台	本学(内丸)・東京	本学(内丸)・東京	本学（矢巾）	本学（内丸）	
試験方法	学科試験（外国語・数学・理科1科目・国語（4教科から3教科選択））・面接			小論文・面接		
合格者発表日	平成24年1月31日(火)	平成24年3月6日(火)	平成24年3月26日(月)	平成23年11月18日(金)	平成24年3月6日(火)	平成24年3月26日(月)

薬学部	推薦入学試験						
	一般推薦(前期)	指定校	同窓生子女	帰国子女	社会人	一般推薦（中期）	一般推薦（後期）
募集人員	75名程度		若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
出願期間（消印有効）	平成23年10月24日(月)～平成23年11月3日(木)					平成24年2月1日(水)～平成24年2月25日(土)	平成24年2月27日(月)～平成24年3月18日(日)
試験日	平成23年11月12日(土)					平成24年3月2日(金)	平成24年3月24日(土)
試験会場	本学（矢巾）					本学（内丸）	
試験方法	書類審査・小論文または化学Ⅰ（同窓生・社会人・帰国子女は化学Ⅰに限る）・面接						
合格者発表日	平成23年11月18日(金)					平成24年3月6日(火)	平成24年3月26日(月)

薬学部	一般入学試験		
	前期	中期	後期
募集人員	70名	10名程度	若干名
出願期間（消印有効）	平成23年12月19日(月)～平成24年1月20日(金)	平成24年2月1日(水)～平成24年2月25日(土)	平成24年2月27日(月)～平成24年3月18日(日)
試験日	平成24年1月27日(金)	平成24年3月2日(金)	平成24年3月24日(土)
試験会場	本学（矢巾）・東京・大阪・札幌・仙台・秋田・青森・山形	本学（内丸）・東京	本学（内丸）・東京
試験方法	学科試験（理科1科目必修、外国語・数学・国語（3教科から2教科選択））		
合格者発表日	平成24年1月31日(火)	平成24年3月6日(火)	平成24年3月26日(月)

平成24年度入学試験日程（岩手医科大学医療専門学校）

歯科衛生学科	推薦入学試験	一般入学試験	
		1期試験	2期試験
募集人員	40名程度	40名程度（推薦・社会人入学試験選考を含む）	
出願期間（必着）	平成23年10月1日㈯～ 平成23年10月20日㈭	平成23年12月21日㈬～ 平成24年1月26日㈭	平成24年2月13日㈪～ 平成24年3月9日㈮
試験日	平成23年10月22日㈯	平成24年1月28日㈯	平成24年3月13日㈫
試験会場	岩手医科大学医療専門学校（上ノ橋校舎）	岩手医科大学歯学部4階第1講義室	岩手医科大学医療専門学校（上ノ橋校舎）
試験方法	基礎学力考査（現代文・小論文（作文））・面接	学科試験（現代文・小論文（作文））・面接	
合格者発表日	平成23年10月28日㈮	平成24年2月3日㈮	平成24年3月16日㈮

歯科衛生学科	社会人入学試験		
	1期試験	2期試験	3期試験
募集人員	若干名		
出願期間（必着）	平成23年10月1日㈯～ 平成23年10月20日㈭	平成23年12月21日㈬～ 平成24年1月26日㈭	平成24年2月13日㈪～ 平成24年3月9日㈮
試験日	平成23年10月22日㈯	平成24年1月28日㈯	平成24年3月13日㈫
試験会場	岩手医科大学医療専門学校（上ノ橋校舎）	岩手医科大学歯学部4階第1講義室	岩手医科大学医療専門学校（上ノ橋校舎）
試験方法	学科試験（現代文・小論文（作文））・面接		
合格者発表日	平成23年10月28日㈮	平成24年2月3日㈮	平成24年3月16日㈮

歯科技工学科	推薦入学試験	一般入学試験		
		1期試験	2期試験	3期試験
募集人員	10名程度	25名（推薦・社会人入学試験選考を含む）		
出願期間（必着）	平成23年11月1日㈫～ 平成23年11月25日㈮	平成23年12月21日㈬～ 平成24年1月27日㈮	平成24年2月13日㈪～ 平成24年3月2日㈮	平成24年3月7日㈬～ 平成24年3月22日㈭
試験日	平成23年11月26日㈯	平成24年1月28日㈯	平成24年3月3日㈯	平成24年3月23日㈮
試験会場	岩手医科大学医療専門学校（内丸校舎）			
試験方法	適性・ワイヤー工作・模型彫刻・基礎学力考査・面接			
合格者発表日	平成23年11月30日㈬	平成24年2月1日㈬	平成24年3月7日㈬	平成24年3月24日㈯

歯科技工学科	社会人入学試験			
	1期試験	2期試験	3期試験	4期試験
募集人員	若干名			
出願期間（必着）	平成23年11月1日㈫～ 平成23年11月25日㈮	平成23年12月21日㈬～ 平成24年1月27日㈮	平成24年2月13日㈪～ 平成24年3月2日㈮	平成24年3月7日㈬～ 平成24年3月22日㈭
試験日	平成23年11月26日㈯	平成24年1月28日㈯	平成24年3月3日㈯	平成24年3月23日㈮
試験会場	岩手医科大学医療専門学校（内丸校舎）			
試験方法	適性・ワイヤー工作・模型彫刻・基礎学力考査・面接			
合格者発表日	平成23年11月30日㈬	平成24年2月1日㈬	平成24年3月7日㈬	平成24年3月24日㈯

省エネ推進委員会だより ～節電にご協力をいただきありがとうございました～

7月1日より発令されておりました電力の使用制限が、予定より早い9月2日をもって解除されました。

本学では矢巾キャンパスが該当し、厳しい暑さのなか、冷房出来ない状況が続くなど大変でしたが、職員の皆様にご協力を頂いた結果、期間中における違反も無く終了しました。また、他の施設においても自主制限を設け、ご協力を頂いておりましたが、制限を上回ることはありませんでした。

当面、電力の不安定な状況が続きますので引き続き節電にご協力をお願い致します。

【受電施設別最大電力値】　（削減値＝最大電力値/契約電力）

	医学部		救急センター		歯学部	
	契約電力 2,350Kw		契約電力 1,100Kw		契約電力 870Kw	
	自主制限値 2,280Kw		自主制限値 1,067Kw		自主制限値 844Kw	
	Kw	削減値	Kw	削減値	Kw	削減値
7月	2,033	13.5%減	952	13.5%減	715	17.8%減
8月	2,030	13.6%減	955	13.2%減	644	26.0%減
	循環器医療センター		矢巾キャンパス		花巻温泉病院	
	契約電力 680Kw		契約電力 1,800Kw		契約電力 225Kw	
	自主制限値 659Kw		使用制限値 1,530Kw		自主制限値 218Kw	
	Kw	削減値	Kw	削減値	Kw	削減値
7月	630	7.4%減	1,440	20.0%減	182	19.1%減
8月	625	8.1%減	1,255	30.3%減	205.6	8.6%減

岩手医科大学募金状況報告

● 総合移転整備事業募金　～ 皆様のご厚志により支えられています ～

平成21年６月から始まりました岩手医科大学総合移転整備事業募金に対し、格別のご理解とご支援を賜りました皆様方お一人おひとりに、厚く御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

皆様のご厚志は、大学発展の大きな原動力となるものであり、本事業の早期達成のため有効に活用させていただいております。

今後とも関係各方面からの格別なるご協力・ご支援を賜わりますよう衷心よりお願い申し上げます。

今回は11回目の御芳名紹介です。（平成23年７月１日～平成23年８月31日）

※御芳名及び寄付金額は、掲載を希望されない方については掲載しておりません。

会社・法人等

＜40,000,000円＞
株式会社こずかたサービス（盛岡市）
＜5,000,000円＞
ワタキューセイモア株式会社（京都府）
＜3,000,000円＞
株式会社興和電設（盛岡市）

＜御芳名のみ記載＞
医療法人　十和田東クリニック（青森県）
（受付順、敬称略）

個　人

＜1,000,000円＞
縄　田　興　幸（医９）
佐　藤　全　紀（医35）
＜500,000円＞
圭陵会上北支部

＜100,000円＞
橋　本　順　吉（医13）
橋　本　進　一（医39）

＜御芳名のみ記載＞
齋藤　貞子（父母）
（受付順、敬称略）

これまでの募金累計額

区　分	申込件数	募金金額(円)
圭　陵　会	427	232,672,000
在学生ご父母	178	79,540,000
役員・名誉教授	40	67,460,000
教　職　員	100	14,295,000
在　学　生	1	100,000
一　　般	91	238,732,922
合　　計	837	632,799,922

（平成23年８月31日現在）

岩手医科大学 震災募金のご案内

東日本大地震・大津波大災害に際し、**被災により学業継続が難しい学生に対する経済的支援や今後年単位で続くことが予想される被災地への地域医療支援のための資金、大学の教育施設の被災復興を目的として**、岩手医科大学震災募金活動を行っております。皆様からのご協力をいただきますようお願い申し上げます。

なお、手続き方法等については**企画部企画課　支援受付担当**までお問い合わせください。

＜お問い合わせ先＞
岩手医科大学企画部企画課　支援受付担当
〒020－8505 岩手県盛岡市内丸19－1
TEL　019－651－5111（内線　7022・7023）
FAX　019－624－1231
E-mail：kikaku@j.iwate-med.ac.jp

これまでの募金累計額

区　分	申込件数	募金金額(円)
圭　陵　会	12	6,350,183
在学生ご父母	5	1,500,000
名 誉 教 授	1	100,000
教　職　員	22	2,405,000
一　　般	83	5,062,231
合　　計	123	15,417,414

（平成23年９月８日現在）

読書の秋に図書館へお立ち寄りください

矢巾キャンパス図書館には、所蔵資料の紹介コーナーが設けられています。

特別展示コーナー（写真左）には、わが国で最初の化学入門書「舎密開宗（せいみかいそう）」が展示されており、企画展示コーナー（写真右）には、医療をテーマにした最近話題の映画の原作本が展示されています（９月21日現在）。

読書シーズンのこれからの季節、ぜひ図書館へお立ち寄りください。

シリーズ 職場めぐり No.70

看護部（循環器医療センター６階）

循環器医療センター６階は、心臓血管外科病棟です。患者さんは、新生児から後期高齢者まで幅広い年齢層が対象となります。スタッフは、看護師29名、看護補助者１名、クラーク１名の計31名で対応しています。

私たちが心がけていることは、ほとんどの患者さんが手術を目的にしているため、不安や恐怖心が軽減されるよう、「手」「目」「言葉かけ」を大切に、心を込めた優しい看護の提供です。特に小児の患者さんの場合は、家族との関わりが重要となります。子供を中心に成長や個性に合わせた関わりと母親指導を行っています。手術後は、早期に心臓リハビリテーションを開始し、循環動態回復へのサポートや再発・悪化を予防するための自己管理にむけた生活指導に力を入れています。

日々、患者さんの喜びを看護のエネルギーにして、いつも笑顔で患者さんが一日でも早く退院できることを目指しスタッフ一丸となり努力しています。　（看護師長　藤田　匡子）

薬学部教務課

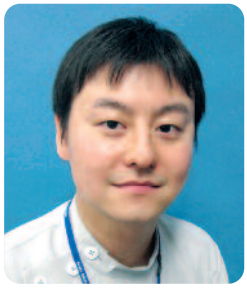
平成19年４月の薬学部発足と同時に組織された当課（平成23年４月「矢巾キャンパス薬学部教務係」から改組）は、緑多き矢巾キャンパス本部棟１階にあり、平均年齢33歳と若い９名のスタッフで構成されています。

学生796名、教員67名の教育研究活動の補助業務が主な仕事となりますが、教務課の業務は多岐に亘っており、広い視野と専門性が求められています。

薬学部の開設以来、文部科学省に提出した設置認可申請に基づくカリキュラムの遂行、薬学共用試験（CBT、OSCE）、薬学実務実習など初めての業務に悪戦苦闘してきましたが、皆様のお力添えをいただき、様々な問題を乗り越えることができました。

来年度には学部の完成と初めての薬剤師国家試験を控えています。18歳人口の減少と不安定な社会情勢の中、薬学部を取り巻く環境は刻々と変化しておりますが、より良い教育研究活動が行われるよう迅速な対応と向上心を持って業務にあたりますので、今後とも関係各位のご理解とご協力をお願い致します。　（係長　佐々木　寛人）

すこやかスポット医学講座 No. 30



皮膚科学講座
講師　馬場　俊右

秋・冬の乾燥肌について

皮膚の表面には角質層という細胞の層があり、その外側を皮脂が覆っています。皮脂膜は角質層の水分の蒸発を防ぎ、角質層にも角質細胞間脂質（セラミド）や天然保湿因子（NMF）など水分を保つ成分があります。それらによって、皮膚のうるおいが保たれます。秋・冬に多くみられる乾燥肌の状態では、皮脂の分泌が低下し、角質層の水分が減少することで、カサカサと白く粉をふいたようになります。皮脂膜と角質層は、皮膚の最も外側にあり、外的刺激からのバリア機能を持っています。乾燥肌では皮膚のバリア機能が低下し、刺激に敏感になるため、皮膚のかゆみや湿疹を起こすことがあります。乾燥肌による湿疹は皮脂欠乏性湿疹と呼ばれます。乾燥肌を起こす原因には、秋・冬の湿度の低下や洗浄力が強い石けん・ボディソープの使用、ナイロンタオルの使用や、年齢による皮脂分泌の低下、アトピー性皮膚炎などの病気によるものがあります。

一般的な乾燥肌の予防法としては、

(1)　皮膚を洗う時は柔らかいタオルを使用して、あまり強くこすらないこと、

(2)　皮脂を落としすぎないように低刺激性（乾燥肌用）の石けんやボディソープを使うこと、

(3)　入浴後に保湿剤を塗ること

などがあります。

乾燥肌用の石けん等はドラッグストア等でも購入できますし、当科の外来にもパンフレットや見本を準備しています。保湿剤には様々な成分や剤形があります。市販品のほかに処方薬もあります。ローションやゲル、乳液状のものは比較的さっぱりした使用感ですが、乾燥が強い場合さらにヘパリン類似物質やワセリンなどの軟膏を塗って、水分の蒸発を防ぐ必要があります。乾燥の程度や部位、使用感を考えて保湿剤を選びます。保湿を行っても乾燥やかゆみがおさまらない場合は、皮脂欠乏性湿疹などの状態が考えられます。その場合、保湿剤と副腎皮質ステロイドの軟膏を使用して治療することが多いですが、症状に合わせて薬剤を選択しますので、皮膚科にご相談ください。

第90回大学報編集委員会

日　　時：平成23年10月20日(木)　午後４時～午後５時

出席委員：山崎　健、影山　雄太、松政　正俊、齋野　朝幸、小山　薫、佐藤　仁、下山　佑、米澤　裕司、赤松　順子、佐々木　忠司、中島　久雄、武藤　千恵子、野里　三津子、山尾　寿子、細川　幾恵

編集後記

超就職氷河期、岩手医大には無縁と思っていました。寒い話題が続きます。東日本大震災から７か月、仮設住宅の冬対策の声があちらこちら聞こえ、新聞やネットでは必要物資の呼びかけがなされています。「何か」が家で眠っていませんか？このような被災した方への直接の支援と共に、長い目で見た資金援助も重要です。本学の震災募金額が1500万円を超えたことをお伝えしました。薄れがちな支援意識を再認識していただければと思います。　（編集委員　佐々木　さき子）

岩手医科大学報　第421号
発行年月日　平成23年10月31日
編　集　岩手医科大学報編集委員会
事務局　企画部　企画課
盛岡市内丸19 - 1
TEL 019-651-5111（内線7022）
FAX 019-624-1231
E-mail:kikaku@j.iwate-med.ac.jp
印　刷　河北印刷㈱　盛岡市本町通2 - 8 - 7
TEL 019-623-4256
E-mail:office@kahoku-ipm.jp